

相談室 と 談話室

開催日

※8月はお盆の為開催日が変更になります。
ひるの相談室 / 13時〜14時30分
よるの談話室 / 19時〜20時30分

偶数月第2水曜日

「みんなの尼崎大学 相談室と談話室」は、誰でも参加できるゆるやかな情報交換・交流の場。まちづくりや地域（尼崎）にまつわるイベントや活動、プロジェクトやアイデアの相談ができます。

ひるの相談室は自由な相談の時間。相談したいことや悩んでいること、考えているアイデアを持ち寄って、みんなで話しましょう。なにか活路が見出せるかも。よるの談話室はテーマに沿って、集まったメンバーで話します。その道のセンパイからの話題提供もありますよ。

開催は偶数月ですでお間違えなく。たくさんの人が集まる相談室と談話室（事前申込不要）以外に、個別相談の時間（要事前連絡）もあります。

すでになにかやっているという方も、これからはじめたいという方も、なにができるかわからないけどなんとなくという方もお気軽にお越しください。



みんなの 尼崎大学って？

「みんなの尼崎大学」は、「学び」をキーワードに人や活動をつなぐまちづくりのプロジェクト。「みんなが先生、みんなが生徒、どこでも教室」を合言葉に、ここで出会った人々の活動がまちじゅうに広がっています。



市内にはほかにもこんな場が！

申し込み・問い合わせ

尼崎市役所 生涯、学習推進課(担当:坂井・山下)
〒661-0974 尼崎市若王寺2丁目18番5号 あまがさき・ひと咲きプラザ アマブラリ2階
Tel:06-4950-0387 Fax:06-6491-5190 Email:ama-ucma@city.amagasaki.hyogo.jp
※個別のご相談については、事前に入室時間と簡単な内容をお知らせください。



○主催：尼崎市 @ucma_amagasaki X@ucmamagasaki https://amanism.jp/ucma/

みんなの尼崎大学

開催日

偶数月 第2水曜日
※8月はお盆の為開催日が変更になります。

ひるの相談室 / 13時〜14時30分
よるの談話室 / 19時〜20時30分

「よるの談話室」は毎回テーマとゲストが変わります！詳しくは中面をご覧ください。



みんなの
尼崎大学

Univer City of Min'na Amagasaki

相談室 と 談話室

こんな人におすすめ！

尼崎市内で
企画・イベントを
やってみたい！

イベント企画運営の経験が豊富な相談員がいます。

自分のスキルや経験を
発表・シェアする
場がほしい！

尼崎の人や場所をご紹介します。

現在進めている
プロジェクトの
相談に乗ってほしい！

ご相談の分野に合わせて相談員が真摯にお伺いします。

地域活動やまちづくりに
関する話がしたい！

夜は対話中心の時間です。ぜひ同じ課題やテーマを持つ方との出会いにしてください。

なにができるか
わからないけど
誰かの力になりたい！

会場 あまがさき・ひと咲きプラザ

〒661-0974
兵庫県尼崎市若王寺2丁目18-5

参加費 無料

主催 尼崎市



タイムスケジュール

- 19:00 ● オープニング・参加者自己紹介
- 19:15 ● 話題提供者によるキートーク
- 19:35 ● 感想共有の時間
- 19:45 ● 談話の時間
- 20:30 ● クロージング・交流の時間
- 21:00 ● 完全撤収

※談話の時間の進め方に関しては、その日の参加者の人数、状況などによって柔軟に対応します。



みんなの談話室の内容

6/12水 “利他とコミュニティ”

最近「利他」という言葉が注目を浴びています。自己責任論が強まっている部分もありますが、一方で他者によき振る舞いをしていく流れもあるように思われます。今回は、本堂が国の「登録有形文化財（建造物）」となった西正寺の住職であり、利他的なふるまいが生まれる場をつくっている中平了悟さんをお招きし、「利他」と「コミュニティ」ということについてみなさんと一緒に考えていきます。

話題提供者



なかひらりょうご
中平了悟さん
西正寺（浄土真宗本願寺派）住職

地域にあるお寺の住職として、お寺・僧侶の「できること」を考えています。お寺本来の法要や行事を大事にしつつ、お寺で社会課題を考える取り組みをしたり、交流イベントをしたりしています。以前、仏教文献（漢文）を読んで思想の研究をしていた人です。



8/21水 “資金調達とマネタイズ”

地域活動を継続するためにも、お金は必要。いかにして公共性の高い活動やまちにあるコモンズを維持管理していくのかは、大きなテーマです。今回は、泉北ニュータウンを中心に、どっぷりとその地域に根ざして活動を展開している宝楽陸寛さんにお越しいただき、稼ぎづらい活動でいかにお金を回していくのか？について、みなさんと一緒に考えを深めてみたいと思います。

話題提供者



ほうらく みちひろ
宝楽 陸寛さん
NPO法人SEINコミュニティLAB所長

ビジネスからボランティアまでNPOや市民の活動のコーディネーターとして活動。泉北ニュータウン50周年を機に、主に30~40代が中心となりコミュニティ財団「公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団」を立ち上げ、現在、「温かいお金」が地域でまわる仕組みづくりを行っている。



10/9水 “シニア世代のウェルビーイング”

リタイア後の世代がどのようにして新たな生活を始めるか、は大きなテーマ。ですが、ここ尼崎では楽しんで活動するシニア世代の方が多くいらっしゃいます。今回は、企業を早期退職し、地域における活動を早くからスタートさせた原田明さんと、西宮と尼崎を股にかけ活動する元保険会社社員の村松賢一さんにお越しいただき、どのように地域での暮らしを楽しんでいるのかをみなさんと一緒に深めます。

話題提供者



はらだ あきら
原田明(BOB)さん
NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ副理事長

1952年、東京都出身。伊丹市在住。関西学院大卒。広告会社を55歳で早期退職。「あまがさき環境オープンカレッジ」設立に参画、「ごみレスキュー隊・トングマン」を結成し、阪急塚口駅南側のゴミ拾い活動を展開中。尼崎市総合計画審議委員。みんなのあま咲き放送局パーソナリティ。みんなのサマーセミナー実行委員長(2代目)。はまようちえん理事。コープこうべ総代。伊丹市西鈴原自治会長。趣味はバスケット、写真、俳句、手芸、コーラス。



むらまつ けんいち
村松賢一さん
西宮「Machigaku(まちのがっこう)」企画メンバー

生命保険会社に長年勤務して、定年・再雇用を経て、5年前の62歳で退職。単身赴任先(東京)から自宅のある西宮市に戻る。フリーランスの傍ら、尼崎で地域活動に飛び込み、株式会社ここにあるで1年間インターンをした後、現在は地元西宮市のNPO法人なごみの「Machigaku(まちがく)」の企画メンバーとして、地元企業・団体との連携・協業および西宮で活躍されている「西宮人」をお招きして、西宮の魅力を語り合う授業づくりに奔走している。



12/11水 “まちの空間活用”

実は、ポテンシャルが引き出されていない場所や建物、スペースがまちにはたくさんあります。今回は、場所を開きたい！スペースを使ってほしい！物件を活用したい！という人や、物件を使って何かやりたい人が集まり、情報の発信や活用方法について対話を深めていきます。使いたい人も、使ってほしい人もあつまれ！

話題提供者



はまもり けんご
濱森 健吾さん
尼崎市空家対策担当係長

平成18年度に入庁。経理や人事などの内部管理を10年ほど経験した後、平成30年度に国土交通省へ出向。令和元年度から空家対策担当係長となり、現在に至る。市内の土地・建物が適切に管理され、活用されている状態をつくるために何ができるのかを模索しながら、課題のある空き家の解決に向けて奮闘中。



2/12水 “共感者集めと仲間づくり”

ひとりで進めるよりも、仲間と進めていくほうが大きなことができます。わたしたちは、どうやってコミュニティをつくり、関係性を紡ぎ、仲間になっていけばよいのでしょうか。今回は尼崎のママたちのためのマルシェイベント「あまままるしえ」や女性でつくるクリエイターチーム「ココスキ」を引っ張ってきた坂本恵利子さんをお招きし、仲間とコミュニティをつくってきた過程について伺いたいと思います。

話題提供者



さかもと えりこ
坂本 恵利子さん
合同会社ココスキ 代表

三宮の貿易会社に勤務。その後、新聞社のアルバイト、雑誌編集プロダクションを経て、フリーランスのライターに。2015年2月、こども作文教室「コトバのチカラ」を開講。これをキッカケに、地域にでていくようになる。2017年、女性クリエイターズチーム「ココスキ」を立ち上げ、2020年1月に法人化。合同会社ココスキを設立。ココスキでは、ライティングのほか、運営企画を担当。仲間と飲むビールが、死ぬほど好き。

